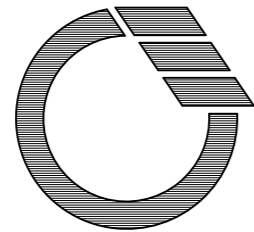


令和4年度

学童クラブ東部教室改築工事



長野県

箕輪町
MINOWA TOWN

図面リスト

意匠-NO	SHEET TITLE	SCALE
A-01	特記仕様書-1	N.S
A-02	特記仕様書-2	N.S
A-03	特記仕様書-3	N.S
A-04	特記仕様書-4	N.S
A-05	特記仕様書-5	N.S
A-06	解体特記仕様書	N.S
A-07	案内図・配置図・概略工程表	1/600
A-08	仕上表・全体平面図	1/200
A-09	既存平面詳細・展開図	1/50
A-10	改修平面詳細・展開図	1/50
A-11	改修矩計図	1/30
A-12	建具表・器具室B改修平面・詳細図	1/30・100
E-01	幹線平面図・盤詳細図(1)	1/200
EM-02	既存・改修設備図	1/200

令和4年度 学童クラブ東部教室改築工事		改修工事設計図																																																																																												
<p>特記仕様書</p> <p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪3187-1</p> <p>2. 敷地面積 1,503.77 m²</p> <p>3. 工事種目</p> <table border="1"> <tr> <th>建物別</th> <th>種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>梁間(m)</th> <th>桁行(m)</th> <th>建築面積(m²)</th> <th>延面積(m²)</th> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>改修</td> <td>鉄骨造</td> <td>1階</td> <td></td> <td></td> <td>1,241.00 m²</td> <td>1,241.00 m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4. 工事内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 用途変更による間取変更 間仕切り壁撤去 内装改修工事(仕上げ材改修・断熱改修) <p>5. 指定部分</p> <p>・有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 対象部分 () 指定部分工期 年 月 日</p> <p>6. 工事範囲</p> <p>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ○「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。 ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事項目</th> <th>工事種目</th> <th>建築主体工事</th> <th>電気設備工事(別紙による)</th> <th>機械設備工事(別紙による)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 仮設工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 防水改修工事</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 建具改修工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 内装改修工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 塗装改修工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 耐震改修工事等</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 環境配慮改修工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 照明工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 空調工事</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>II 管理技術者等</p> <table border="1"> <tr> <td>設計事務所名 株式会社 創和設計</td> <td>管理技術者</td> </tr> <tr> <td>主任担当技術者 意匠担当</td> <td>担当技術者</td> </tr> <tr> <td>構造担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積算担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気設備担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械設備担当</td> <td></td> </tr> </table> <p>III. 建築改修工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成 31 年版)(以下、「改修標準仕様書」という。) ○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成 31 年版)(以下、「標準仕様書」という。) ○ 建築工事標準詳細図(平成 28 年版)(以下、「標準詳細図」という。) ○ 建築物解体工事共通仕様書(平成 31 年版) ○ 敷地調査共通仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課(平成 27 年改定) ○ 建築構造設計基準 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成 25 年版) ○ 工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○ 長野県建築工事の手引 長野県建設部施設課監修 ○ 公共建築木造工事標準仕様書 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成 31 年版) ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編) 建設省建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修 ○ 長野県建設リサイクル推進指針 <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は() 図、機械設備工事の特記仕様書は() 図による。</p>				建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(m ²)	延面積(m ²)	体育館	改修	鉄骨造	1階			1,241.00 m ²	1,241.00 m ²									工事項目	工事種目	建築主体工事	電気設備工事(別紙による)	機械設備工事(別紙による)	2 仮設工事		○			3 防水改修工事		—			4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁		—			5 建具改修工事		○			6 内装改修工事		○			7 塗装改修工事		○			8 耐震改修工事等		—			9 環境配慮改修工事		○			10 照明工事		○			11 空調工事		○			設計事務所名 株式会社 創和設計	管理技術者	主任担当技術者 意匠担当	担当技術者	構造担当		積算担当		電気設備担当		機械設備担当	
建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(m ²)	延面積(m ²)																																																																																							
体育館	改修	鉄骨造	1階			1,241.00 m ²	1,241.00 m ²																																																																																							
工事項目	工事種目	建築主体工事	電気設備工事(別紙による)	機械設備工事(別紙による)																																																																																										
2 仮設工事		○																																																																																												
3 防水改修工事		—																																																																																												
4 外壁改修工事 コンクリート打ち放し仕上げ外壁		—																																																																																												
5 建具改修工事		○																																																																																												
6 内装改修工事		○																																																																																												
7 塗装改修工事		○																																																																																												
8 耐震改修工事等		—																																																																																												
9 環境配慮改修工事		○																																																																																												
10 照明工事		○																																																																																												
11 空調工事		○																																																																																												
設計事務所名 株式会社 創和設計	管理技術者																																																																																													
主任担当技術者 意匠担当	担当技術者																																																																																													
構造担当																																																																																														
積算担当																																																																																														
電気設備担当																																																																																														
機械設備担当																																																																																														

章	項目	特記事項
		<p>(3) 本特記仕様書の表記</p> <p>1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。(・印のみの場合は適用しない。)</p> <p>○印と ○印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の [] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>4) 特記事項に記載の () 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>5) <input type="checkbox"/> 印は、「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」(グリーン購入法)の特記調達品目を示す。</p>
1	1 適用区分	<p>(1.2.2)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風圧力 風速 (V₀= m/s) ・地面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表 ()
	② 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)
	3 条件明示項目	・現場説明書による (1.3.5)
	④ 発生材の処理等	※別紙解体工事仕様書による ○構外搬出適正処理 (1.3.12) また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ・引渡しを要するもの ・再生資源の利用を図るもの
	⑤ 環境への配慮	[1.4.1] (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集材材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジノブチル及びフタル酸ジノブチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三种」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ① 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三种ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③ 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三种ホルムアルデヒド発散建築材料 ④ 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	⑥ 材料の品質等	[1.4.2] (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者名等が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材、乾式保護材、既製鋼合モルタル、既製鋼合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水材、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル、床型特用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフトレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバヘッドドア、可動間仕切、トブライト、錆鉄製ふた
	7 特別な材料の工法	改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	8 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 (1.5.2) 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 (1.5.3)
	⑨ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑩ 技能士	(1.6.2) ○適用する(一級技能士を採用している現場等旨の表示をすること。) ・適用しない
	適用工事種目	技能検定作業
	防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・外気系塗膜防水工事作業 ・アクリル系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業 ○内外装板金作業
	外壁改修工事	・左官作業 ・外気張り作業 ・建築塗装作業
	建具改修工事	・ビム用加工工事作業 ○加工工事作業 ・自動ドア施工作業
	内装改修工事	○アクリル系床仕上げ工事作業 ○木質系床仕上げ工事作業 ○木質系仕上げ工事作業 ・鋼製地下工事作業 ○壁紙作業 ○大工工事作業 ・外気張り作業
	塗装改修工事	○建築塗装作業
	耐震改修工事	・鉄骨組立作業 ・型枠施工作業 ・とび作業
	コンクリート・ロック・ALC・木工事	・コンクリート加工工事作業 ・エーパル加工工事作業
	石工事	・石張り作業
	植栽工事	・造園工事作業

① 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>[1.6.9]</p> <p>測定方法 ○バグプ法(拡散法) ・フアイト法(吸引法)</p> <p>検査機関 ※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承諾した者</p> <p>測定物質</p> <p>※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※アクリルベンゼン ※パラジクロロベンゼン ※スチレン 測定箇所(室) 計 1 箇所 居室・ホール廊下A ※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。 化学物質の室内汚染濃度計測値</p> <table border="1"> <tr> <th>ホルムアルデヒド</th> <th>トルエン</th> <th>キシレン</th> <th>アクリルベンゼン</th> <th>パラジクロロベンゼン</th> <th>スチレン</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>0.08ppm</td> <td>0.07ppm</td> <td>0.05ppm</td> <td>0.88ppm</td> <td>0.04ppm</td> <td>0.05ppm</td> <td></td> </tr> </table> <p>あと施工アンカー工事 8章(あと施工アンカー)による コア抜き、はつり工事等 ※ 既存資料調査 ・探査機(電磁波レーダ法又は電磁波誘導法)による探査 配管・配線等の位置の墨出を行う 範囲 ※ 図示 ・放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか、次にによる。 (1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 (2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 (3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 (4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 (5) 躯体の墨出しは、表裏でズレないように措置を講ずる。</p>	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	アクリルベンゼン	パラジクロロベンゼン	スチレン	備考	0.08ppm	0.07ppm	0.05ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm																			
ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	アクリルベンゼン	パラジクロロベンゼン	スチレン	備考																											
0.08ppm	0.07ppm	0.05ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm																												
12 埋設配管・配線および鉄筋調査	<p>○作成する (1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)</p> <p>※完成図(※設計図書で示したものでなく、標仕1.7.11による) ・監督員の指示による) 作成方法 ○原図 用紙(※A3用紙) ・ () ・パネル(木製枠) 外部()内部() ※2 ・ ※半切 ・全紙 ・ガラスライド 外部()内部() ※1 ・ 24×36以上 ○CADデータ(※CAD) ・ () ○製本(原図の青焼き、見開きA1版(1部)) ○CDデータ(※CD-R 2部) ・ () ○安全に関する資料(2部) 下記のものに監督職員に提出する。原画は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>写真のサイズ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・カラー写真</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※半切版・半紙版</td> </tr> <tr> <td>・パネル(木製枠)</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※半切 ・全紙</td> </tr> <tr> <td>・ガラスライド</td> <td>外部()内部()</td> <td>※1</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>○電子データ</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※428万画素以上 ※350dpi以上</td> </tr> </table> <p>電子データは、ファイル名のうえRGB各8ビット(768ビット)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者</p>	分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)	・カラー写真	外部()内部()	※2	※半切版・半紙版	・パネル(木製枠)	外部()内部()	※2	※半切 ・全紙	・ガラスライド	外部()内部()	※1	24×36以上	○電子データ	外部()内部()	※2	※428万画素以上 ※350dpi以上												
分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)																														
・カラー写真	外部()内部()	※2	※半切版・半紙版																														
・パネル(木製枠)	外部()内部()	※2	※半切 ・全紙																														
・ガラスライド	外部()内部()	※1	24×36以上																														
○電子データ	外部()内部()	※2	※428万画素以上 ※350dpi以上																														
⑬ 完成図等	<p>(1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)</p> <p>○作成する (1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)</p> <p>※完成図(※設計図書で示したものでなく、標仕1.7.11による) ・監督員の指示による) 作成方法 ○原図 用紙(※A3用紙) ・ () ・パネル(木製枠) 外部()内部() ※2 ・ ※半切 ・全紙 ・ガラスライド 外部()内部() ※1 ・ 24×36以上 ○CADデータ(※CAD) ・ () ○製本(原図の青焼き、見開きA1版(1部)) ○CDデータ(※CD-R 2部) ・ () ○安全に関する資料(2部) 下記のものに監督職員に提出する。原画は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>写真のサイズ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・カラー写真</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※半切版・半紙版</td> </tr> <tr> <td>・パネル(木製枠)</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※半切 ・全紙</td> </tr> <tr> <td>・ガラスライド</td> <td>外部()内部()</td> <td>※1</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>○電子データ</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※428万画素以上 ※350dpi以上</td> </tr> </table> <p>電子データは、ファイル名のうえRGB各8ビット(768ビット)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者</p>	分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)	・カラー写真	外部()内部()	※2	※半切版・半紙版	・パネル(木製枠)	外部()内部()	※2	※半切 ・全紙	・ガラスライド	外部()内部()	※1	24×36以上	○電子データ	外部()内部()	※2	※428万画素以上 ※350dpi以上												
分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)																														
・カラー写真	外部()内部()	※2	※半切版・半紙版																														
・パネル(木製枠)	外部()内部()	※2	※半切 ・全紙																														
・ガラスライド	外部()内部()	※1	24×36以上																														
○電子データ	外部()内部()	※2	※428万画素以上 ※350dpi以上																														
⑭ 完成写真	<p>○電子データ(※CD-R 2部) ・ () 下記のものに監督職員に提出する。原画は撮影業者の保管とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>写真のサイズ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・カラー写真</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※半切版・半紙版</td> </tr> <tr> <td>・パネル(木製枠)</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※半切 ・全紙</td> </tr> <tr> <td>・ガラスライド</td> <td>外部()内部()</td> <td>※1</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>○電子データ</td> <td>外部()内部()</td> <td>※2</td> <td>※428万画素以上 ※350dpi以上</td> </tr> </table> <p>電子データは、ファイル名のうえRGB各8ビット(768ビット)、JPEG形式最高画質(100%画質)とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※ 建築完成写真撮影の実績のある業者で監督職員の承諾する撮影業者</p>	分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)	・カラー写真	外部()内部()	※2	※半切版・半紙版	・パネル(木製枠)	外部()内部()	※2	※半切 ・全紙	・ガラスライド	外部()内部()	※1	24×36以上	○電子データ	外部()内部()	※2	※428万画素以上 ※350dpi以上												
分類・規格	撮影箇所数	部数	写真のサイズ(mm)																														
・カラー写真	外部()内部()	※2	※半切版・半紙版																														
・パネル(木製枠)	外部()内部()	※2	※半切 ・全紙																														
・ガラスライド	外部()内部()	※1	24×36以上																														
○電子データ	外部()内部()	※2	※428万画素以上 ※350dpi以上																														
1 足場その他	<p>[2.2.1]</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。 ・内部足場 ・設置する(※ 脚立、足場板等 ・持組) ・設置しない ・外部足場 ・設置する ・設置しない ・防護シート ・設置する ・設置しない 材料、撤去法等の選定方法 [表 2.2.1] 種別(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種) C種: 利用可能なエレベーター () D種: 利用可能な階段 ()</p>																																
② 既存部分の養生	<p>[2.3.1]</p> <p>1) 養生の方法等 ○既存部分 養生の方法(○ビニルシート、合板等 ・合板・防炎シート) ・既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) ・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等) ・ 保管場所(・図示 ・)</p> <p>・備品、机、ロッカー等の移動(・図示 ・)※工事に支障となる範囲 2) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の措置を行う。</p>																																
3 仮設間仕切り	<p>[2.3.2][表 2.3.1]</p> <p>1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 ・既存防火扉利用 2) 仮設間仕切りの種別と材質等</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>下地</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・木</td> <td>・せっこうボード(9.5mm)</td> <td>・無し</td> <td>※ 有り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・軽量鉄骨</td> <td>・合板(9.0mm)</td> <td>・片面</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td>※C種</td> <td>単管</td> <td>防炎シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>充填材 ※グラスウール 32k (厚: 50mm以上) 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>充填材</th> </tr> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・無し</td> <td>※有り</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・片面</td> <td>・無し</td> </tr> </table> <p>充填材 ※グラスウール 32k (厚: 50mm以上)</p>	種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材	・A種	・木	・せっこうボード(9.5mm)	・無し	※ 有り	・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0mm)	・片面	・無し	※C種	単管	防炎シート			材質	仕上げ	塗装	充填材	※木製	※合板張り程度	・無し	※有り	・	・	・片面	・無し
種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材																													
・A種	・木	・せっこうボード(9.5mm)	・無し	※ 有り																													
・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0mm)	・片面	・無し																													
※C種	単管	防炎シート																															
材質	仕上げ	塗装	充填材																														
※木製	※合板張り程度	・無し	※有り																														
・	・	・片面	・無し																														
4 監督員事務所	<p>[2.4.1]</p> <p>※ 設ける ・ 設けない 規模 ※ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ () ㎡程度</p>																																
⑤ 工事用水	<p>構内既存の施設 ○利用できる(○有償 ・無償) ※利用できない</p>																																
⑥ 工事用電力	<p>構内既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ○利用できない</p>																																
3 防水・遮音工事	<p>1 施工数量調査</p> <p>調査範囲 ・図示 ・ (1.5.2, 3) 調査方法 ・図示 ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・ 調査報告書 提出部数 ・2部 ・</p> <p>2 降雨等に対する養生方法(とい)</p> <p>※改修標準仕様書3.1.3(e)(1)~(3)による。 (3.1.3)</p> <p>3 既存防水の処理</p> <p>既存保護層の撤去 行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない) 既存防水層の撤去 行う(範囲 ・図示 ・) ・行わない)</p> <p>露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う(・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X) ・行わない)</p> <p>4 既存防水層の地下補修</p> <p>既存地下の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 ・ POS工法及びPOSI工法(機械式固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 ※改修標準仕様書3.2.6(d)(3)(vi)①~③による (3.2.6)</p>																																

5 アスファルト防水	<p>[3.3.2~5]</p> <p>屋根保護防水 防水層の種別</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上</td> <td>・乾式保護材 ・コンクリート ・れんが 押え</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2A1</td> <td>・A1-1 ※A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(材質)※JIS A 9521による 押出法ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA(スキン層付) 又はJIS A 9511によるA種押出法ポリスチレンフォームの保温板3種b(含むあり) (厚さ)・25mm</td> <td>※フラットヤーン クロス 70g/m²程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1B1 ・T1B1</td> <td>・B1-1 ・B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・乾式保護材 窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したものの。 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による</p> <p>屋根露出防水 防水層の種別</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td></td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ※D1-2</td> <td></td> <td>(材質)※JIS A 9521による 硬質ウレタンフォーム断熱材を種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透過係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm</td> <td>・製造所の指定による</td> <td>・製造所の指定による</td> <td></td> <td>・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による ・脱気装置の種類 ・設置数量 個/㎡ 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・</p> <p>屋内防水</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td></td> <td>保護層 ・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>※E-2</td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> <p>押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示 ・</p> <p>防水層の種別 [3.4.2, 3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>高日射反射率防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3AS ・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J3 ・AS-J4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1</td> <td>・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td></td> <td>(材質)※JIS A 9521による 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透過係数を除く規定に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 ・設置数量 個/㎡ 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による 平成30年版 2018.2 暫定</p> <table border="1"> <tr> <th>施設課長</th> <th>企画課</th> <th>企画課長</th> <th>設備課長</th> <th>設備課第一係長</th> <th>課長補佐兼 施設第二係長</th> <th>設備 担当者</th> <th>建築 副担当者</th> <th>建築 担当者</th> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート ・れんが 押え	・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3					・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		(材質)※JIS A 9521による 押出法ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA(スキン層付) 又はJIS A 9511によるA種押出法ポリスチレンフォームの保温板3種b(含むあり) (厚さ)・25mm	※フラットヤーン クロス 70g/m ² 程度		・P1B1 ・T1B1	・B1-1 ・B1-2 ・B1-3					工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考	種類	使用量	・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による			・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		(材質)※JIS A 9521による 硬質ウレタンフォーム断熱材を種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透過係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	備考	・P1E	・E-1		保護層 ・設ける	・P2E	※E-2		・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材	高日射反射率防水の適用	備考	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2					・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J3 ・AS-J4					・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		(材質)※JIS A 9521による 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透過係数を除く規定に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm			施設課長	企画課	企画課長	設備課長	設備課第一係長	課長補佐兼 施設第二係長	設備 担当者	建築 副担当者	建築 担当者
工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																									
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材 ・コンクリート ・れんが 押え																																																																																																									
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																																																													
・P2A1	・A1-1 ※A1-2 ・A1-3		(材質)※JIS A 9521による 押出法ポリスチレンフォーム 断熱材3種bA(スキン層付) 又はJIS A 9511によるA種押出法ポリスチレンフォームの保温板3種b(含むあり) (厚さ)・25mm	※フラットヤーン クロス 70g/m ² 程度																																																																																																										
・P1B1 ・T1B1	・B1-1 ・B1-2 ・B1-3																																																																																																													
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考																																																																																																							
				種類	使用量																																																																																																									
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による																																																																																																									
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない																																																																																																							
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		(材質)※JIS A 9521による 硬質ウレタンフォーム断熱材を種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透過係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用D1 ・設ける ・設けない																																																																																																							
工法	種別	施工箇所	備考																																																																																																											
・P1E	・E-1		保護層 ・設ける																																																																																																											
・P2E	※E-2		・設けない																																																																																																											
工法	種別	施工箇所	断熱材	高日射反射率防水の適用	備考																																																																																																									
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2																																																																																																													
・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J3 ・AS-J4																																																																																																													
・M3AS1 ・M4AS1 ・POAS1	・AS1-T1 ・AS1-J1		(材質)※JIS A 9521による 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号若しくは2号で透過係数を除く規定に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号若しくは2号で透過係数を除く規格に適合するもの (厚さ)・25mm																																																																																																											
施設課長	企画課	企画課長	設備課長	設備課第一係長	課長補佐兼 施設第二係長	設備 担当者	建築 副担当者	建築 担当者																																																																																																						
6 改質アスファルトシート防水	<p>[3.4.2, 3]</p> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による 脱気装置の種類及び設置数量 ※改質アスファルトシート製造所の指定による ・脱気装置の種類 ・設置数量 個/㎡ 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による 平成30年版 2018.2 暫定</p> <table border="1"> <tr> <th>施設課長</th> <th>企画課</th> <th>企画課長</th> <th>設備課長</th> <th>設備課第一係長</th> <th>課長補佐兼 施設第二係長</th> <th>設備 担当者</th> <th>建築 副担当者</th> <th>建築 担当者</th> </tr> </table>	施設課長	企画課	企画課長	設備課長	設備課第一係長	課長補佐兼 施設第二係長	設備 担当者	建築 副担当者	建築 担当者																																																																																																				
施設課長	企画課	企画課長	設備課長	設備課第一係長	課長補佐兼 施設第二係長	設備 担当者	建築 副担当者	建築 担当者																																																																																																						

7 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ⑧規制対象外 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p>	[7.1.3]																																																																																															
	2 下地調整	<p>塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ・図示</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ○R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面(鋼製建具)</td> <td>※R B種</td> <td>・ R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)、A L Cパネル面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・ R A種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ○R B種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※R B種	・ R A種 ○R B種	・	鉄鋼面	※R B種	・ R A種		垂鉛めっき面	※R B種	・ R A種		垂鉛めっき面(鋼製建具)	※R B種	・ R C種		モルタル、プaster面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面(DP以外)、A L Cパネル面	※R B種	・ R A種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面	・	・ R A種	・ 行う ・ 行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・ R A種 ○R B種	-	[7.2.1~7]																																																									
下地面の種類	下地調整の種類			ひび割れ部の補修																																																																																														
	塗替え	新規																																																																																																
木部	※R B種	・ R A種 ○R B種	・																																																																																															
鉄鋼面	※R B種	・ R A種																																																																																																
垂鉛めっき面	※R B種	・ R A種																																																																																																
垂鉛めっき面(鋼製建具)	※R B種	・ R C種																																																																																																
モルタル、プaster面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・ 行う ・ 行わない																																																																																															
コンクリート面(DP以外)、A L Cパネル面	※R B種	・ R A種	・ 行う ・ 行わない																																																																																															
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面	・	・ R A種	・ 行う ・ 行わない																																																																																															
せつこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・ R A種 ○R B種	-																																																																																															
3 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面</th> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td>EP-G以外 塗替え</td> <td>A種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>A種 ※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">E P-G</td> <td>塗替え</td> <td>B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>B種 ※A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>B種 ※B種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">垂鉛めっき面</td> <td>EP-G以外 塗替え</td> <td>※A種 ・ ※C種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A種 ・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>C種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C種 ※A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>※塗装が耐候性塗料塗り(DP)の場合、表7.8.10の仕様にて準ずる。</p>	塗装面	塗料	工程	鉄鋼面	EP-G以外 塗替え	A種 ※C種	新規鉄鋼面見え掛り	A種 ※A種	新規見え隠れ	A種 ※B種	塗替え	B種 ※C種	E P-G	塗替え	B種 ※C種	新規鉄鋼面見え掛り	B種 ※A種	新規見え隠れ	B種 ※B種	垂鉛めっき面	B種 ※C種	垂鉛めっき面	EP-G以外 塗替え	※A種 ・ ※C種	新規鉄鋼面見え掛り	※A種 ・ ※A種	塗替え	C種 ※C種	新規鉄鋼面見え掛り	C種 ※A種	[7.3.2, 3]																																																																		
塗装面	塗料	工程																																																																																																
鉄鋼面	EP-G以外 塗替え	A種 ※C種																																																																																																
	新規鉄鋼面見え掛り	A種 ※A種																																																																																																
	新規見え隠れ	A種 ※B種																																																																																																
	塗替え	B種 ※C種																																																																																																
E P-G	塗替え	B種 ※C種																																																																																																
	新規鉄鋼面見え掛り	B種 ※A種																																																																																																
	新規見え隠れ	B種 ※B種																																																																																																
	垂鉛めっき面	B種 ※C種																																																																																																
垂鉛めっき面	EP-G以外 塗替え	※A種 ・ ※C種																																																																																																
	新規鉄鋼面見え掛り	※A種 ・ ※A種																																																																																																
	塗替え	C種 ※C種																																																																																																
	新規鉄鋼面見え掛り	C種 ※A種																																																																																																
④ 塗装	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・ 2種</td> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○クリアラッカー塗り(OL)</td> <td>垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級()級</td> <td></td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき鋼面 上塗り等級()級</td> <td></td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ A-2種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の垂鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエナメル塗り(LE)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>○木材保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プaster面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり止め ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきり止めシーラーとする 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしきり止め ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきり止めシーラーとする</p> <p>・高日射反射率塗料塗り [G] 下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ・ R A種 ・ R B種 ・ R C種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="4">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付量(kg/m²)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JISK5675</td> <td>屋根用高日射反射率塗料</td> <td>2種</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種	塗料の種類 ※1種 ・ 2種	木部屋内	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	○クリアラッカー塗り(OL)	垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種	垂鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		-	-	・アクリル樹脂系非水分散塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級		A種	垂鉛めっき鋼面 上塗り等級()級		A種	・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-2種	コンクリート面等	※B種	・ ※B種 ・ A種	・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	・ ※A種	屋内の鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種	・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種		※B種	・ ※B種	・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・ ※B種 ・ A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	・ A種	・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種	・ A種	・オイルステイン塗り(OS)		-	-	○木材保護塗料塗り(WP)		※B種	・ A種	工程	塗料その他				塗付量(kg/m ²)	規格番号	規格名称	種類	等級	塗料塗り	JISK5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による	
塗装の種類	塗装面			工程																																																																																														
		塗替え	新規																																																																																															
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																															
塗料の種類 ※1種 ・ 2種	木部屋内	※B種	※B種																																																																																															
	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																															
○クリアラッカー塗り(OL)	垂鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																															
	垂鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																															
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		-	-																																																																																															
・アクリル樹脂系非水分散塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																															
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級		A種																																																																																															
	垂鉛めっき鋼面 上塗り等級()級		A種																																																																																															
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面		・ A-2種																																																																																															
	コンクリート面等	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																															
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	・ ※A種																																																																																															
	屋内の鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																															
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	屋内の垂鉛めっき鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																															
		※B種	・ ※B種																																																																																															
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																															
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	・ A種																																																																																															
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種	・ A種																																																																																															
・オイルステイン塗り(OS)		-	-																																																																																															
○木材保護塗料塗り(WP)		※B種	・ A種																																																																																															
工程	塗料その他				塗付量(kg/m ²)																																																																																													
	規格番号	規格名称	種類	等級																																																																																														
塗料塗り	JISK5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	塗料製造所の仕様による																																																																																													

9 環境配慮改修工事	1 アスベスト含有分析調査	<p>施工調査 ※アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び目録等による設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</p> <p>調査範囲(・ 図示) 貸与資料()</p> <p>・分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソチライト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフライト、トレモライト</p> <p>分析方法 ※JIS A 1481-2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS A 1481-3 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部: アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示</p>	材 料 名	定性分析	定量分析	化粧石膏ボード	・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	[9.1.1, 3~5]																																														
	材 料 名	定性分析	定量分析																																																													
化粧石膏ボード	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																														
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																														
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																														
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																														
2 アスベスト粉じん濃度測定	<p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各処理作業ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定 2</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ 4方向各1点 ・ () 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定 4</td> <td></td> <td>仕上がり入口</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td>測定 5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定 6</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ 4方向各1点 ・ () 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定 8</td> <td>(隔離シート撤去前)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ 4方向各1点 ・ () 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・</td> <td>測定 9</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定 10</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査作業室外部の付近</td> <td>・ () 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 測定5のみ ※n-1の平均値、粉じん相対湿度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子自動計測器(リファクタインモーター)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定</p> <p>測定5以外は下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定 3</th> <th>測定 1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測定 9, 10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1</td> <td>・ 5</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5</td> <td>・ 120</td> </tr> </tbody> </table>	通用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各処理作業ごと)	・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ () 点	測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点	・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・ () 点	測定 4		仕上がり入口	・ () 点	・	測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ () 点	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点	・	測定 7	処理作業後	処理作業室内	・ () 点	測定 8	(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点	・	測定 9	処理作業後	処理作業室内	・ () 点	測定 10	撤去後1週間以降	調査作業室外部の付近	・ () 点	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 9, 10	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	試料の吸引流量(L/min)	・ 1	・ 5	試料の吸引時間(min)	・ 5	・ 120	
通用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各処理作業ごと)																																																												
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ () 点																																																												
	測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点																																																												
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・ () 点																																																												
	測定 4		仕上がり入口	・ () 点																																																												
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ () 点																																																												
	測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点																																																												
・	測定 7	処理作業後	処理作業室内	・ () 点																																																												
	測定 8	(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点 ・ () 点																																																												
・	測定 9	処理作業後	処理作業室内	・ () 点																																																												
	測定 10	撤去後1週間以降	調査作業室外部の付近	・ () 点																																																												
測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 9, 10																																																														
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25																																																														
試料の吸引流量(L/min)	・ 1	・ 5																																																														
試料の吸引時間(min)	・ 5	・ 120																																																														
3 アスベスト含有建材の処理	<p>・アスベスト含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去方法 ※9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・ セメント固化</p> <p>除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設)</p> <p>・アスベスト含有保温材の除去 除去方法 ※9.1.4(e)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合) 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 9.1.3(b)による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生させるおそれがある場合) 除去対象範囲 ・ 図示 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・ セメント固化</p> <p>除去したアスベスト含有保温材の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設)</p> <p>・アスベスト含有成型板の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去したアスベスト含有成型板の処分 ・ アスベスト含有せつこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・ アスベスト含有せつこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設)</p>																																																															
4 リフラクトリーセラミックファイバーの処理	<p>除去処理対象物 ・ 除去対象範囲 ・ 図示 除去方法 ・ 図示 処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(熔融施設)</p>																																																															
5 断熱アスファルト防水改修工事	改修特記仕様書3章による	[9.2.1~3]																																																														
6 外断熱改修工事 [G]	<p>断熱材 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・ 施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>外装材</th> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	外装材	種類	防火性能	備考					[9.3.2~4]																																																						
外装材	種類	防火性能	備考																																																													

7 ガラス改修工事	既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書4.1.4による																																			
	⑨ 断熱・防露改修工事 [G]	<p>7 ガラス改修工事 [9.4.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遮へい性</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・断熱複層ガラス</td> <td>・ 1種 U 1</td> <td></td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種 U 2</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>複層ガラス</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ⑧規制対象外</p> <p>・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキん層なし)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキんなし)</td> <td>・ 保温板(2種b) ・ 保温板(3種b)</td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示</p> <p>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示</p> <p>・現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>・断熱材後張り工法 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・</p>	品 種	断熱性	日射熱遮へい性	厚 さ	・断熱複層ガラス	・ 1種 U 1		・ 図示		・ 2種 U 2		・		・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2		・	種 類	厚 さ(mm)	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキん層なし)	・	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・フェノールフォーム断熱材	・ 25	・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 25	・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキんなし)	・ 保温板(2種b) ・ 保温板(3種b)	・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	・	・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)	・
品 種	断熱性	日射熱遮へい性	厚 さ																																	
・断熱複層ガラス	・ 1種 U 1		・ 図示																																	
	・ 2種 U 2		・																																	
	・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2		・																																	
種 類	厚 さ(mm)																																			
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・																																			
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキん層なし)	・																																			
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																			
・フェノールフォーム断熱材	・ 25																																			
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 25																																			
・押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキんなし)	・ 保温板(2種b) ・ 保温板(3種b)																																			
・ A種硬質ウレタンフォーム保温材	・																																			
・フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)	・																																			
9 屋上緑化改修工事 [G]	<p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示</p> <p>(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p>	[9.6.2, 3]																																		
10 透水性舗装改修工事	<p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材 料</th> <th>厚 さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下) ・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>・路床安定処理(添加材料による安定処理) 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・ 特号 ・ 1号) ・ 固化材(・ セメント系 ・ 石灰系) 添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・ 3以上)</p> <p>・不織布(ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1.5×10⁻³cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 安定処理土のCBR試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 六価クロム溶出試験 ・ 行う(現場説明書による) ・ 行わない</p>	種別	材 料	厚 さ(mm)	・盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利	・ 図示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下) ・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)	・ 図示	[9.7.2~9]																						
種別	材 料	厚 さ(mm)																																		
・盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示																																		
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利	・ 図示																																		
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下) ・川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)	・ 図示																																		

11 PCB含有シーリング材処分	<p>路盤 路盤の構成及び厚さ ※ 図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">種 別</th> </tr> <tr> <th>種 別</th> <th>厚 さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">砕 石</td> <td>・クラッシュラン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・粒度調整砕石</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再生材</td> <td>・クラッシュラン [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・粒度調整砕石 [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]</td> <td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>透水性舗装の構成及び厚さ ※図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>部 位</th> <th>厚 さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">表層</td> <td>・改質アスファルトI型</td> <td>車路、駐車場</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>・透水性用開粒度アスファルト</td> <td>歩行者用通路</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・透水性コンクリート</td> <td>・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路</td> <td>70 80</td> </tr> <tr> <td>・透水性インターロッキングブロック</td> <td>・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路</td> <td>60 30</td> </tr> <tr> <td>敷砂層</td> <td>・砂</td> <td>・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路</td> <td>20 30</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト乳剤(プライムコート)の施工は行わない。</p> <p>・透水性アスファルト舗装 ・ポーラスアスファルト混合物(13) ・開粒度アスファルト混合物(13) 配合 [表9.7.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるいの呼び名</th> <th colspan="2">ふるい通過質量百分率(%)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.0mm</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2mm</td> <td>90 ~ 100</td> <td>95 ~ 100</td> </tr> <tr> <td>4.75mm</td> <td>11 ~ 35</td> <td>20 ~ 36</td> </tr> <tr> <td>2.36mm</td> <td>10 ~ 20</td> <td>12 ~ 25</td> </tr> <tr> <td>300µm</td> <td>-</td> <td>5 ~ 13</td> </tr> <tr> <td>75µm</td> <td>3 ~ 7</td> <td>3 ~ 6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト量(%)</td> <td>4 ~ 6</td> <td>3.5 ~ 5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>基準値 [表9.7.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基準値</th> </tr> <tr> <th>・車路、駐車場</th> <th>・歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大粒径(mm)</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>安定度(kN)</td> <td>3.43以上</td> <td>3.0以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td>-</td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>20程度</td> <td>12以上</td> </tr> <tr> <td>動的安定度(回/mm)</td> <td>3,000以上</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>透水係数(cm/s)</td> <td>1×10⁻²以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>・不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・ 図示</p> <p>舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PCB含有シーリング分析調査(第一次判定)</td> <td>部 位 ・ 図示 箇 所数: 箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB含有シーリング分析調査(第二次判定)</td> <td>部 位 ・ 図示 箇 所数: 箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は現場説明書による</p>	種 別	種 別		種 別	厚 さ(mm)	砕 石	・クラッシュラン		・粒度調整砕石		再生材	・クラッシュラン [G]		・粒度調整砕石 [G]		・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]		区分	種類	部 位	厚 さ(mm)	表層	・改質アスファルトI型	車路、駐車場	50	・透水性用開粒度アスファルト	歩行者用通路	30	・透水性コンクリート	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	70 80	・透水性インターロッキングブロック	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	60 30	敷砂層	・砂	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	20 30	フィルター層	川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)		100	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率(%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19.0mm	100	100	13.2mm	90 ~ 100	95 ~ 100	4.75mm	11 ~ 35	20 ~ 36	2.36mm	10 ~ 20	12 ~ 25	300µm	-	5 ~ 13	75µm	3 ~ 7	3 ~ 6	アスファルト量(%)	4 ~ 6	3.5 ~ 5.5	項目	基準値		・車路、駐車場	・歩行者用通路	最大粒径(mm)	13		安定度(kN)	3.43以上	3.0以上	フロー値(1/100cm)	-	20~40	空隙率(%)	20程度	12以上	動的安定度(回/mm)	3,000以上	-	透水係数(cm/s)	1×10 ⁻² 以上		種類	採取する部位・箇所数	備 考	・PCB含有シーリング分析調査(第一次判定)	部 位 ・ 図示 箇 所数: 箇所		・PCB含有シーリング分析調査(第二次判定)	部 位 ・ 図示 箇 所数: 箇所		
	種 別		種 別																																																																																																						
種 別		厚 さ(mm)																																																																																																							
砕 石	・クラッシュラン																																																																																																								
	・粒度調整砕石																																																																																																								
再生材	・クラッシュラン [G]																																																																																																								
	・粒度調整砕石 [G]																																																																																																								
・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																								
	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																								
区分	種類	部 位	厚 さ(mm)																																																																																																						
表層	・改質アスファルトI型	車路、駐車場	50																																																																																																						
	・透水性用開粒度アスファルト	歩行者用通路	30																																																																																																						
	・透水性コンクリート	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	70 80																																																																																																						
	・透水性インターロッキングブロック	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	60 30																																																																																																						
敷砂層	・砂	・ 車路、駐車場 ・ 歩行者用通路	20 30																																																																																																						
フィルター層	川砂、海砂又は良質な山砂(75µmふるい通過量6%以下)		100																																																																																																						
ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率(%)																																																																																																								
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																							
19.0mm	100	100																																																																																																							
13.2mm	90 ~ 100	95 ~ 100																																																																																																							
4.75mm	11 ~ 35	20 ~ 36																																																																																																							
2.36mm	10 ~ 20	12 ~ 25																																																																																																							
300µm	-	5 ~ 13																																																																																																							
75µm	3 ~ 7	3 ~ 6																																																																																																							
アスファルト量(%)	4 ~ 6	3.5 ~ 5.5																																																																																																							
項目	基準値																																																																																																								
	・車路、駐車場	・歩行者用通路																																																																																																							
最大粒径(mm)	13																																																																																																								
安定度(kN)	3.43以上	3.0以上																																																																																																							
フロー値(1/100cm)	-	20~40																																																																																																							
空隙率(%)	20程度	12以上																																																																																																							
動的安定度(回/mm)	3,000以上	-																																																																																																							
透水係数(cm/s)	1×10 ⁻² 以上																																																																																																								
種類	採取する部位・箇所数	備 考																																																																																																							
・PCB含有シーリング分析調査(第一次判定)	部 位 ・ 図示 箇 所数: 箇所																																																																																																								
・PCB含有シーリング分析調査(第二次判定)	部 位 ・ 図示 箇 所数: 箇所																																																																																																								

MEMORANDUM		TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	SHEET NO.
		令和4年度 学童クラブ東部教室改築工事	解体特記仕様書		R03.10		A-06

令和4年度 学童クラブ東部教室改築工事 解体工事仕様書

I 解体工事概要

1. 工事場所 **長野県上伊那郡箕輪町大字東箕輪3187-1**

2. 敷地面積 (㎡) **1, 241.00 ㎡**

3. 除却対象物

除却対象建築物等	構造	階数	梁間(㎡)	桁行(㎡)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
体育館	鉄骨造	1階			1,241.00 ㎡	1,241.00 ㎡

II 解体工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)」(以下、「解体共仕」という。)

(2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。
印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
印と印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。

6 屋外設備等

7 解体後の整地

3 特別管理産業廃棄物の処理

4 PCBを含む機器類

5 PCB含有シリング材

6 ダイオキシン類

4 建設廃棄物の処理

1 一般事項

2 再資源化等

3 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物

4 産業廃棄物広域認定制度の活用

5 最終処分する建設廃棄物

6 処理に注意を要する建設廃棄物

5 特別管理産業廃棄物等の処理等

1 施工調査

2 分析調査

3 PCB含有シリング分析調査

4 PCBを含む機器の微量PCBの分析調査

3 特別管理産業廃棄物の処理

4 PCBを含む機器類

5 PCB含有シリング材

6 ダイオキシン類

6 アスベスト含有建材の除去等

1 アスベスト含有分析調査

2 7μm/20μm未満度測定

測定箇所 ※図示

測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考
測定1	処理作業前	処理作業室内	・()点	—
測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点	—
測定3	処理作業中	処理作業室内	・()点	—
測定4	処理作業中	材料搬入・搬出の出入口	・()点	空気の流れを確認
測定5	処理作業中	集じん・排気装置の設置の排出口(処理作業室外の場合)	・装置各1点	除じん装置の性能確認
測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点	—
測定7	処理作業後(7+養生中)	処理作業室内	・()点	—
測定8	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・4方向各1点	—
測定9	処理作業後	処理作業室内	・()点	—
測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・()点	—

測定5のみ ※n-1回(1回)の粉じん相対湿度計(7μm/20μm未満度)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定

アスベスト粉じん濃度測定方法

測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8	測定9, 10
7μm/20μm未満径(mm)	25	25
試料の吸引流量(l/min)	1	5
試料の吸引時間(min)	5	120

7 その他

1 工事現場の環境改善について

2 産業廃棄物の取扱いについて

3 騒音、振動調査

4 土壌調査

5 官公庁その他への届出手続等

6 疑義に関する協議等

7 文化財その他の埋蔵物

8 埋蔵文化財調査

7 その他

1 工事現場の環境改善について

2 産業廃棄物の取扱いについて

3 騒音、振動調査

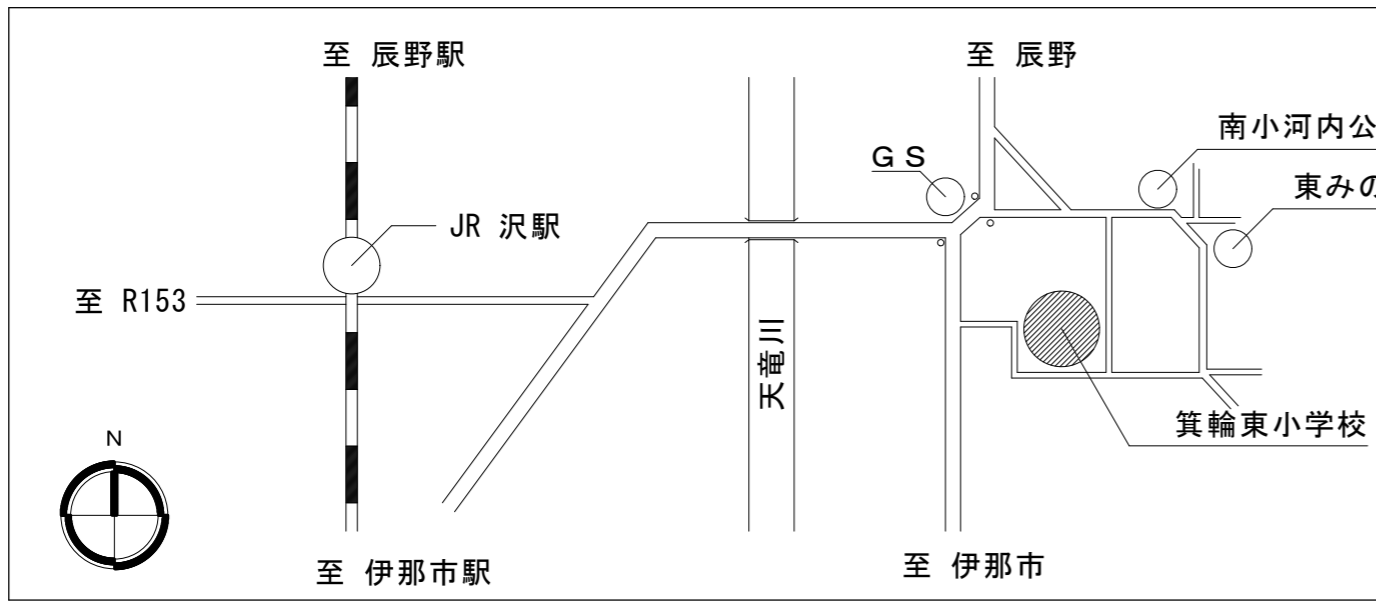
4 土壌調査

5 官公庁その他への届出手続等

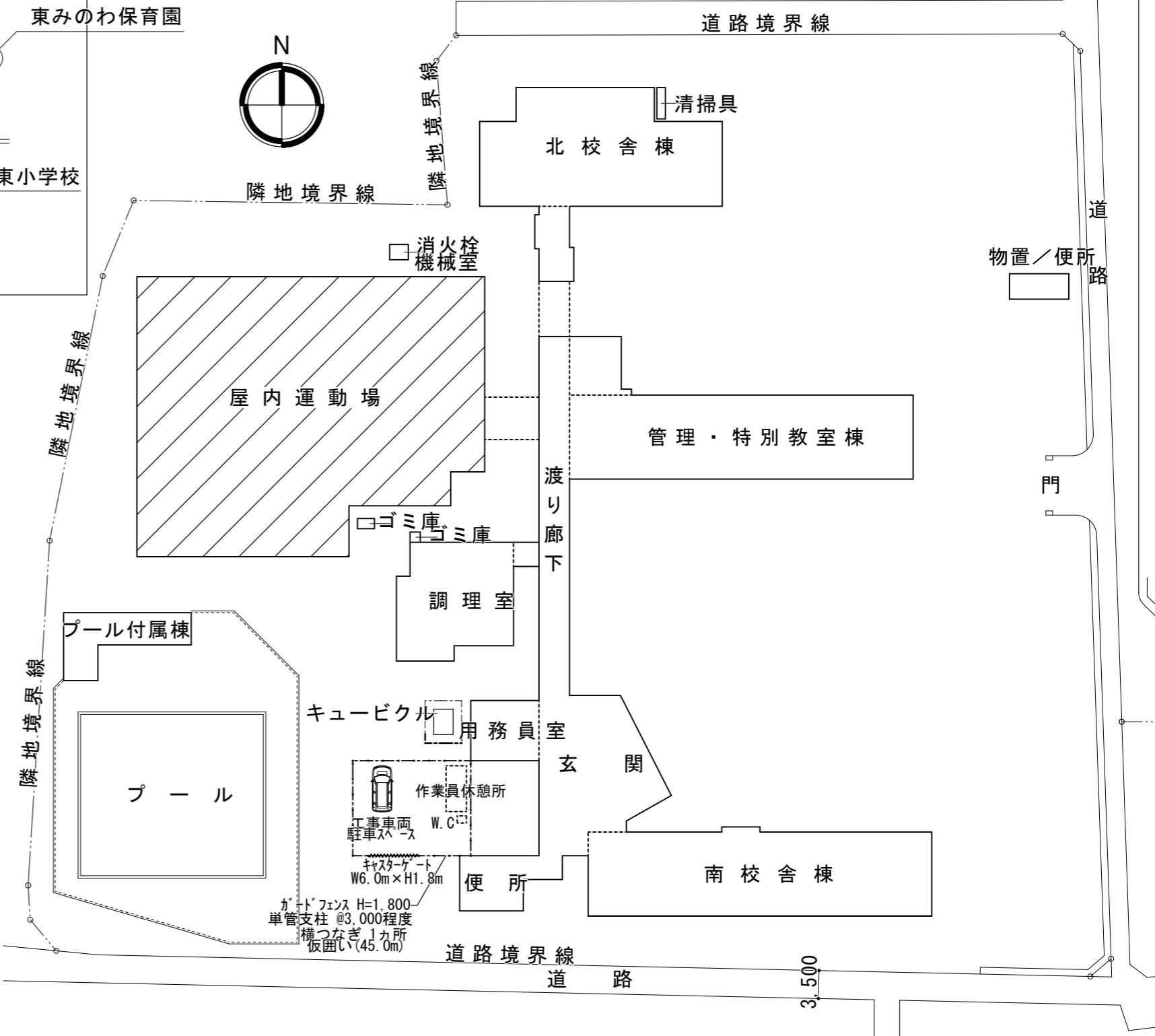
6 疑義に関する協議等

7 文化財その他の埋蔵物

8 埋蔵文化財調査



案内図

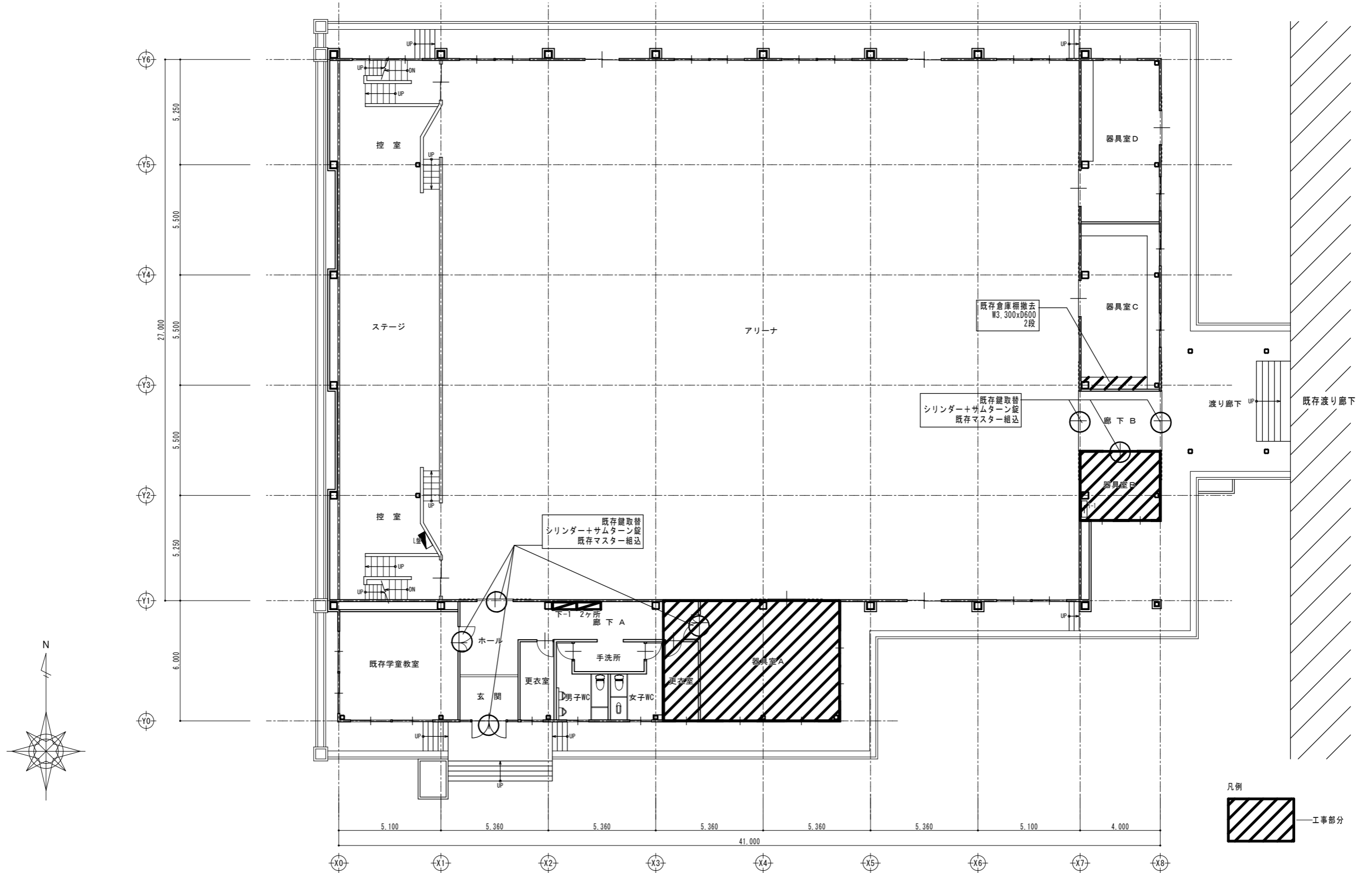


配置図 1/400

概略工事工程表 (参考)

室名	工事予定工期 月日	1カ月				2カ月							
		1	7	15	21	30	1	7	15	21	30		
児童教室改修	工事種目												
	検査・行事												検査・手直し
	建築工事	準備	解体	床補修	壁仕上	天井仕上	家具設置						
	電気工事	準備	電気配線撤去	各種配線・機器取付									
	機械工事	準備	機械設備撤去	各種機器取付									
	既存倉庫改修	準備	解体				家具取付						

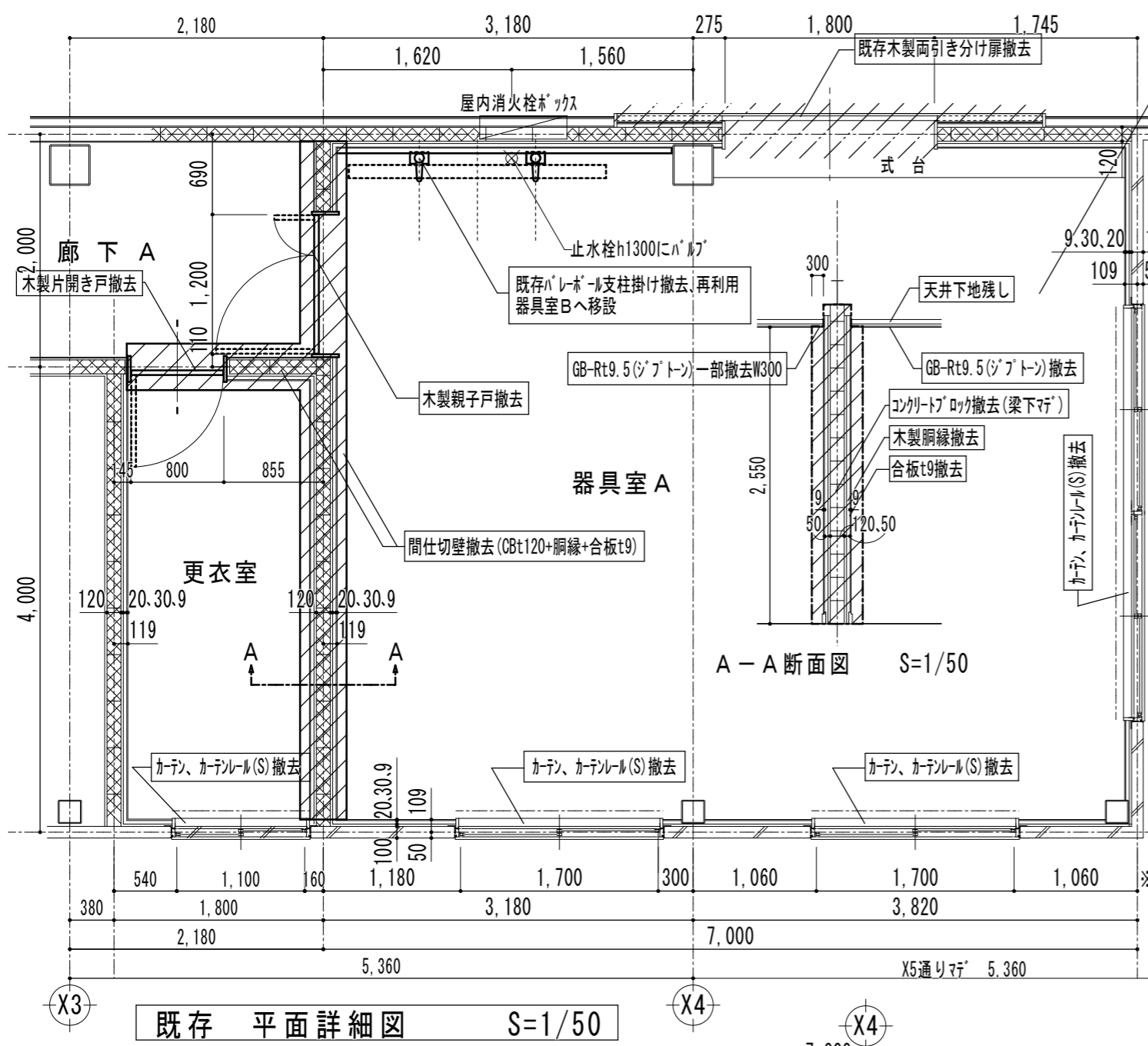
..... 工事部分を示す。



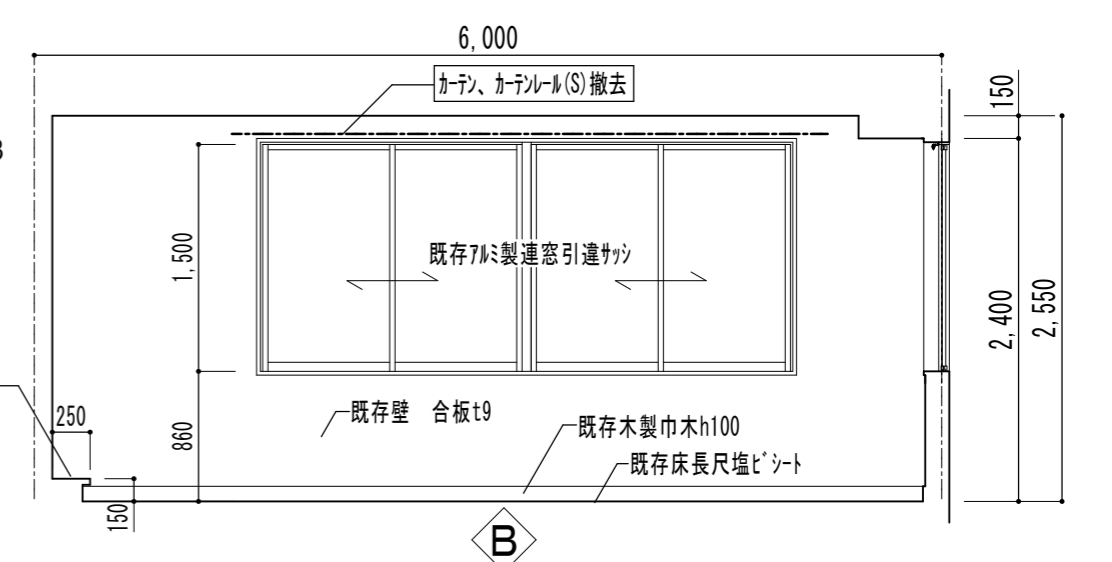
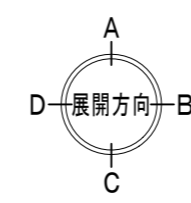
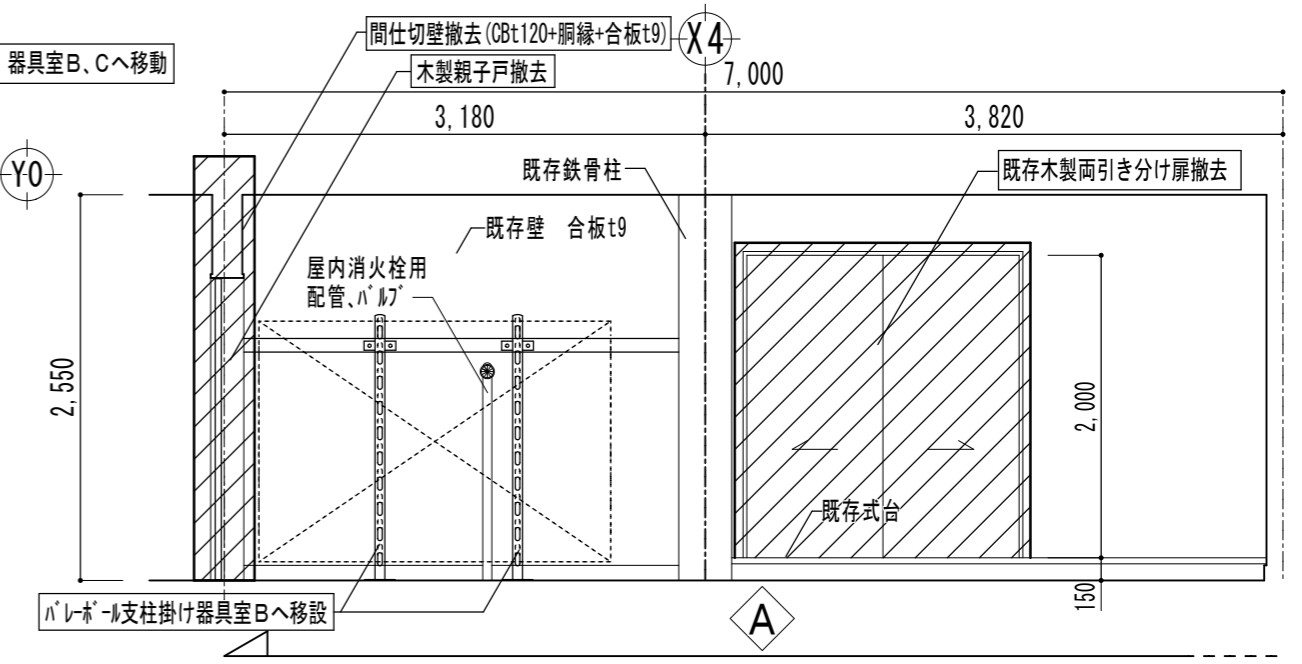
既存1階平面図 S=1/100

仕上表

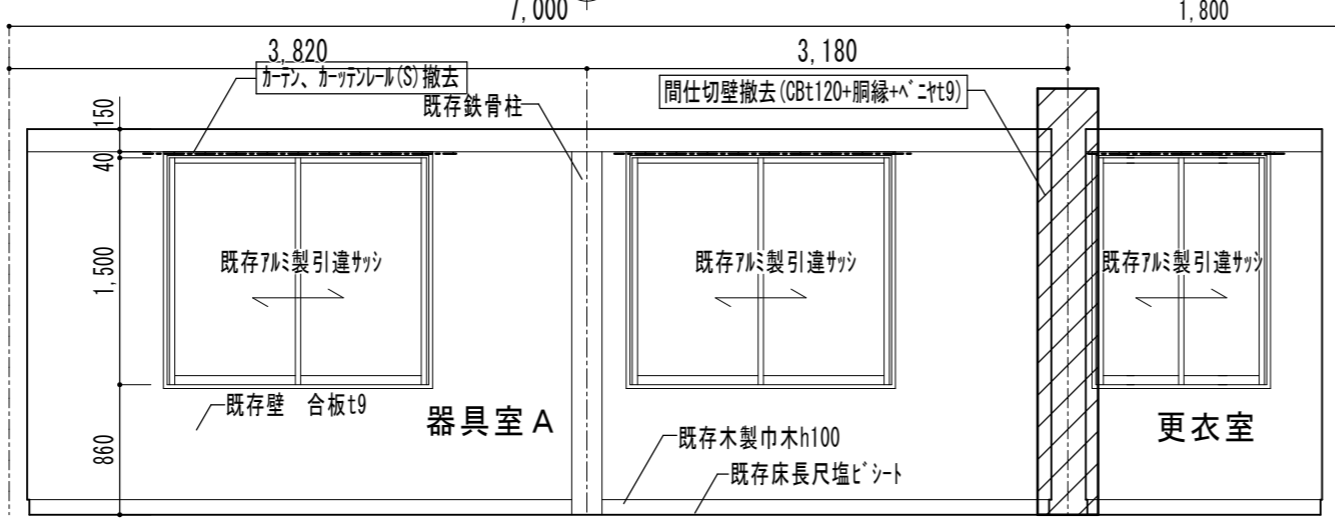
	室名	床仕上げ	巾木仕上げ	腰仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	天井高さ	備考
既存	器具室 A	土間コンクリート 金網押え、長尺塩ビ床シート	木製巾木h100	木製胴縁下地、珪合板t9	木製胴縁下地、珪合板t9	GB-Rt9.5(ジフトン)	2,400,2,550	パレール用支柱掛け器具
改修	学童クラブ	既存長尺塩ビ床シートの上 タイルカーペット t9.5	既存巾木に WP塗装	既存珪合板の上に 珪合板t5.5 C.L.塗装	既存珪合板の上に 珪合板t5.5 C.L.塗装	ジフトン撤去(LGS下地残し) ガラスワール充填t100(16K) GB-Rt9.5(ジフトン)張り	2,400,2,550	棚、ホワイトボード パレール用支柱掛け器具 器具室Bへ移設 体育器具、器具室B、Cへ移動設
	器具室 B	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま		パレール用支柱掛け器具取付(下地共) 木製棚取付



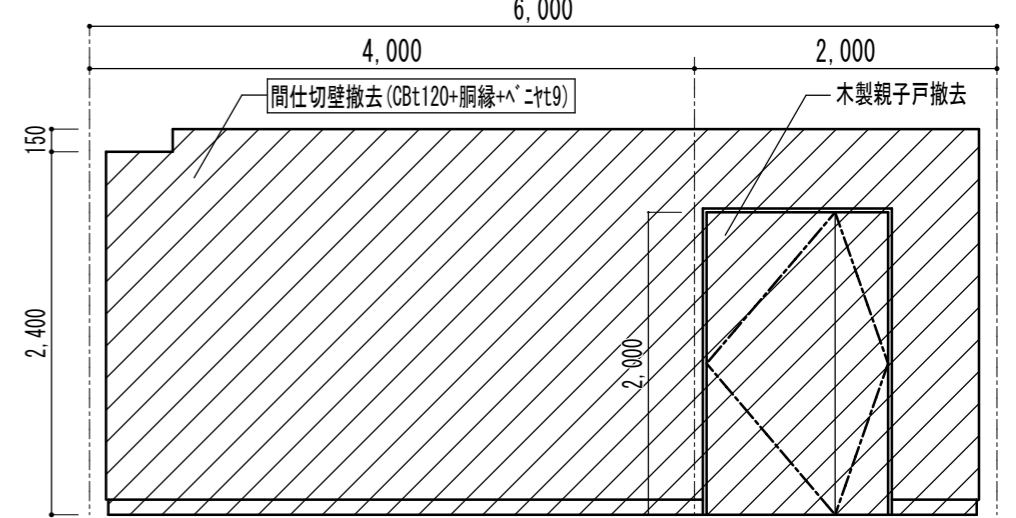
既存 平面詳細図 S=1/50



B



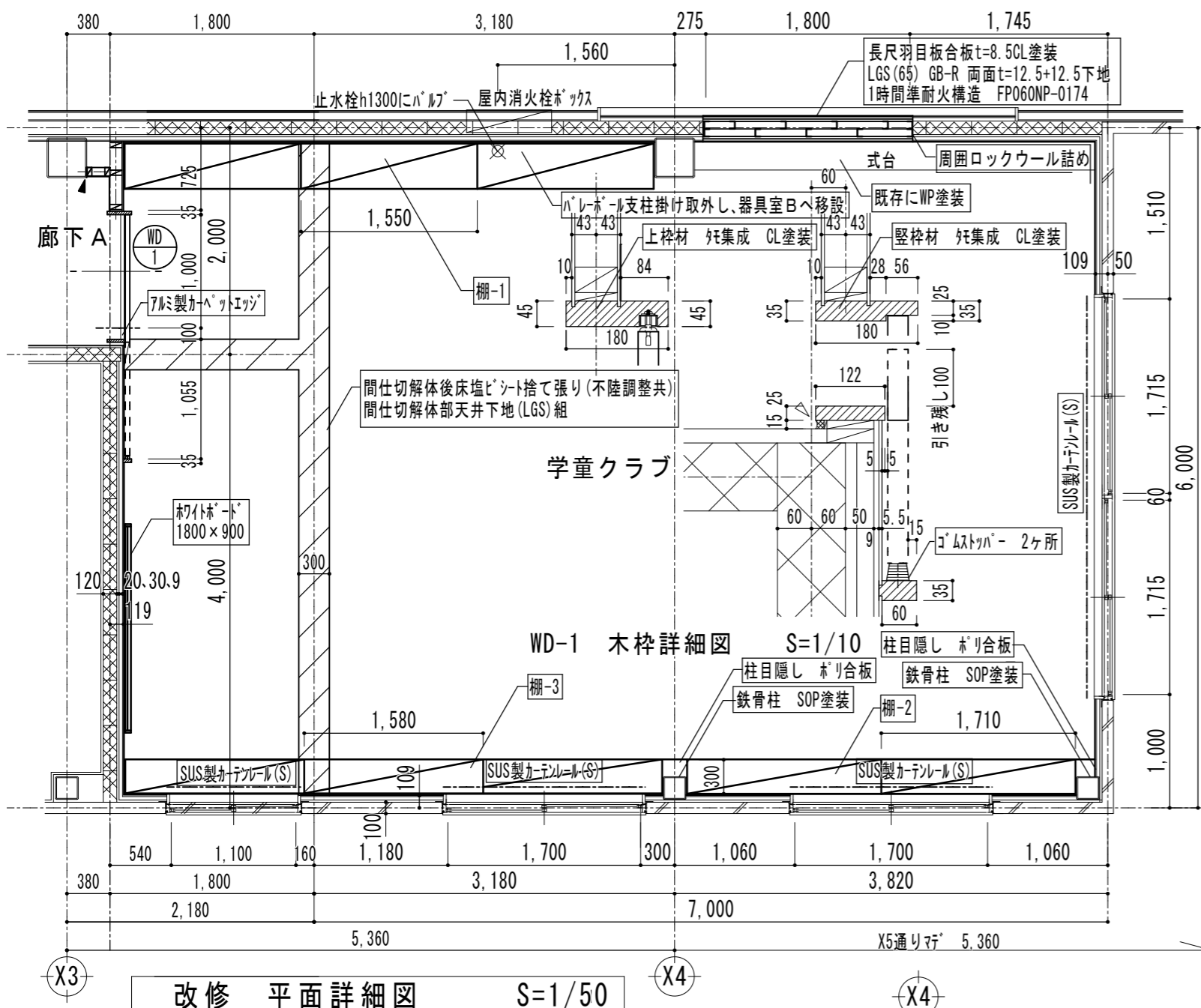
C



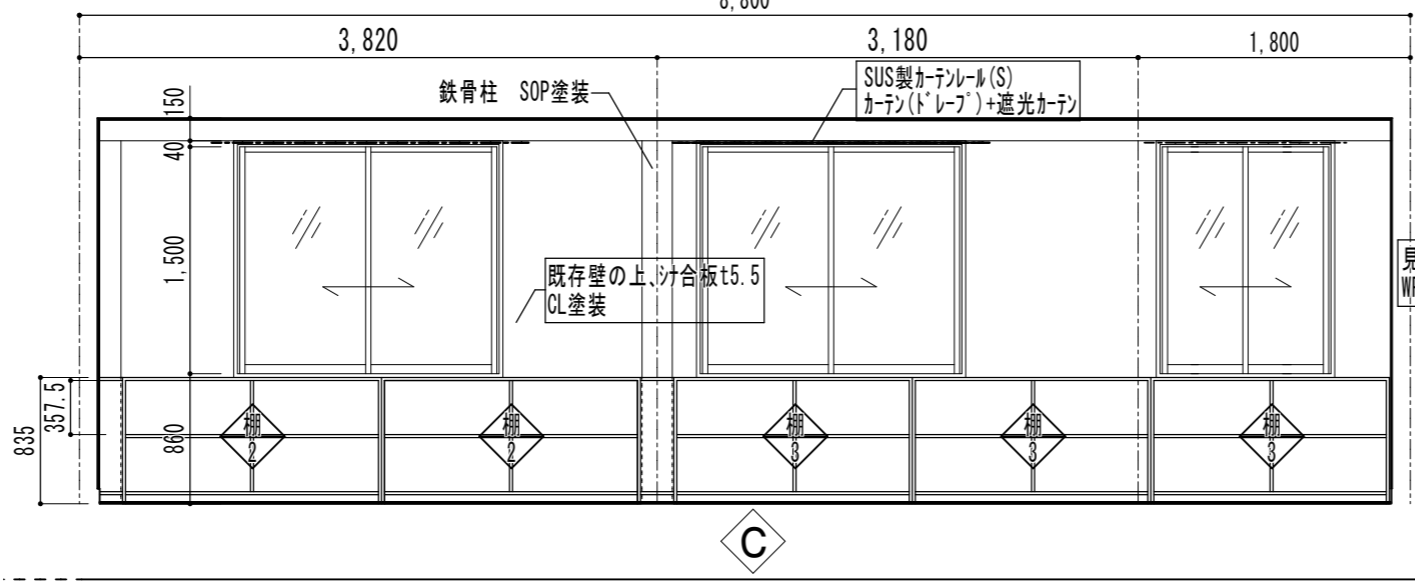
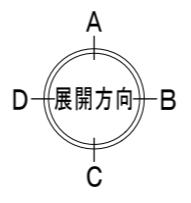
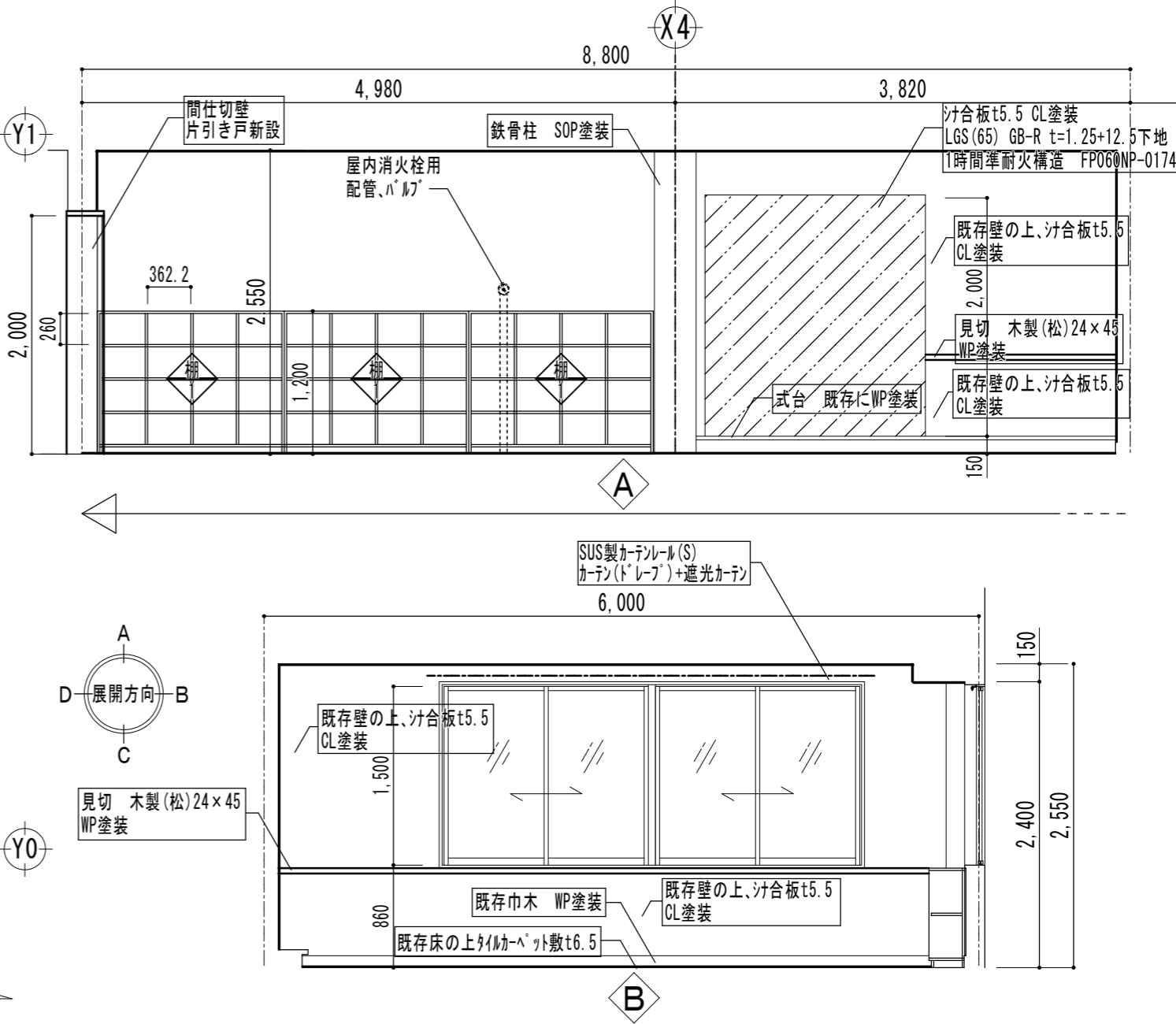
D

既存 展開図 S=1/50

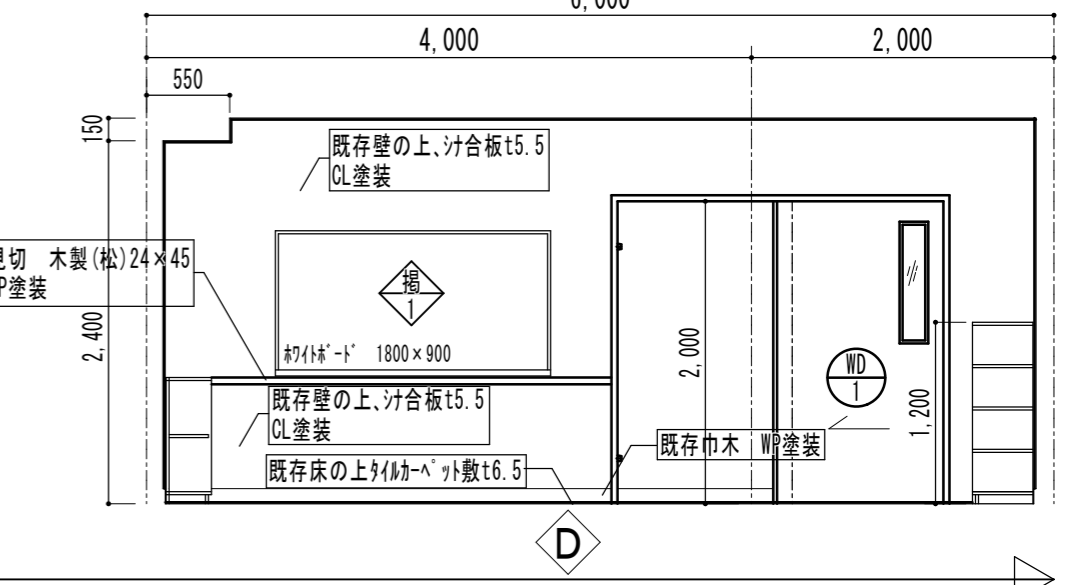
体育器具室 A	CH=2,550
床	土間コンクリート 金ゴテ押え 長尺塩ビ床シート
巾木	木製巾木h100
腰壁	壁に同じ
壁	木製胴縁下地 7mm合板t9
天井	GB-Rt9.5(ジブトーン)
備考	



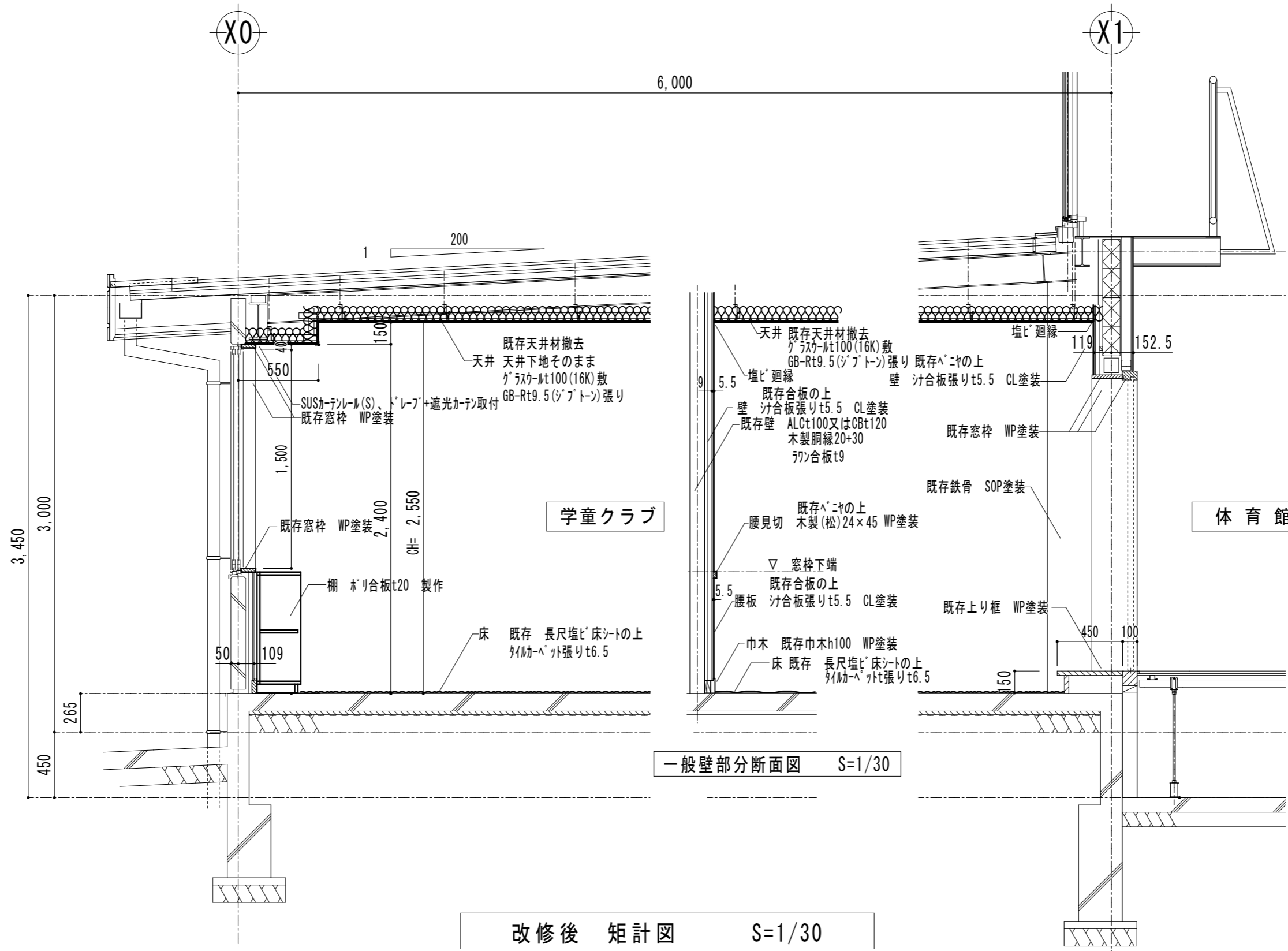
改修 平面詳細図 S=1/50



改修後 展開図 S=1/50

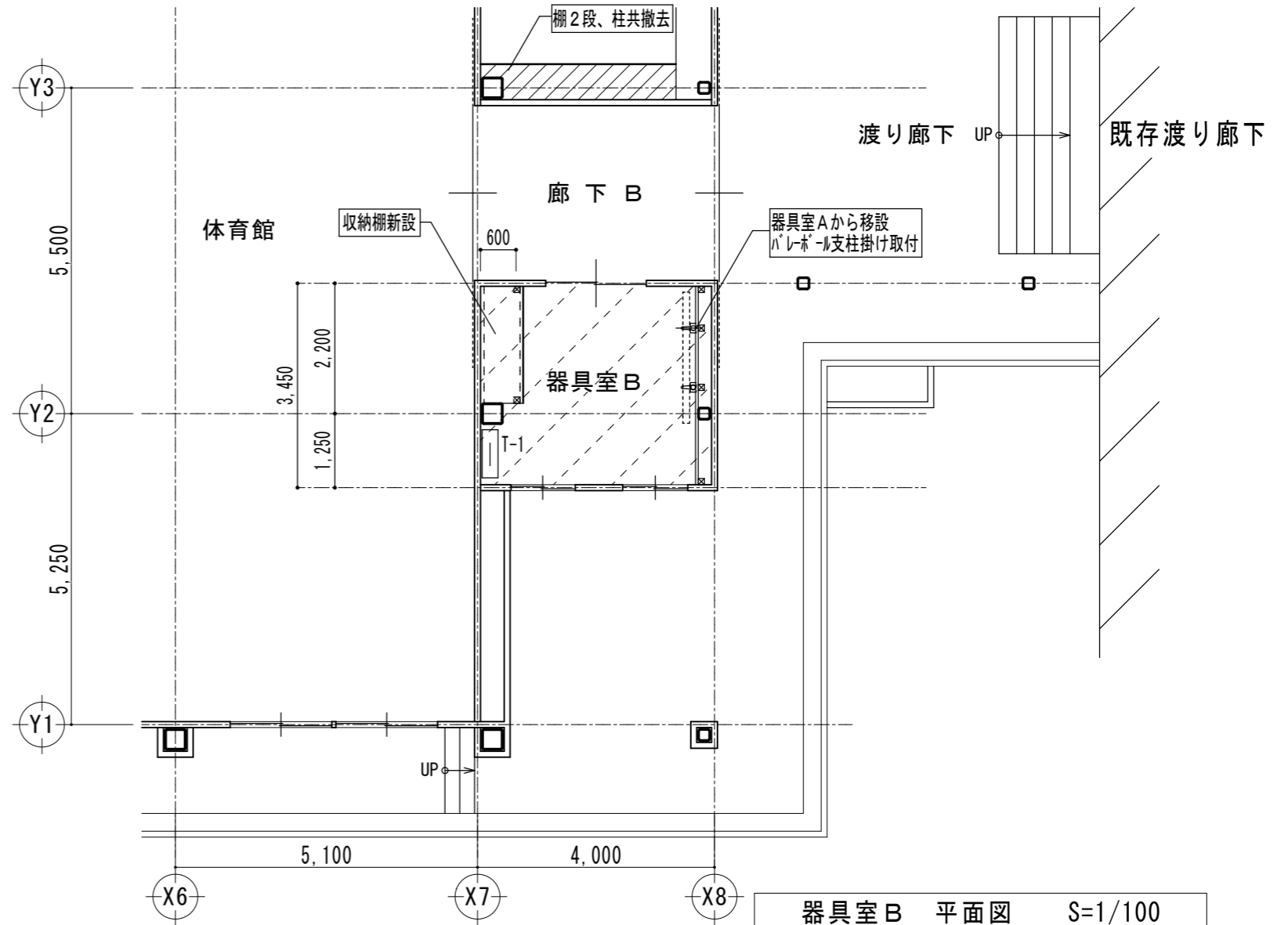
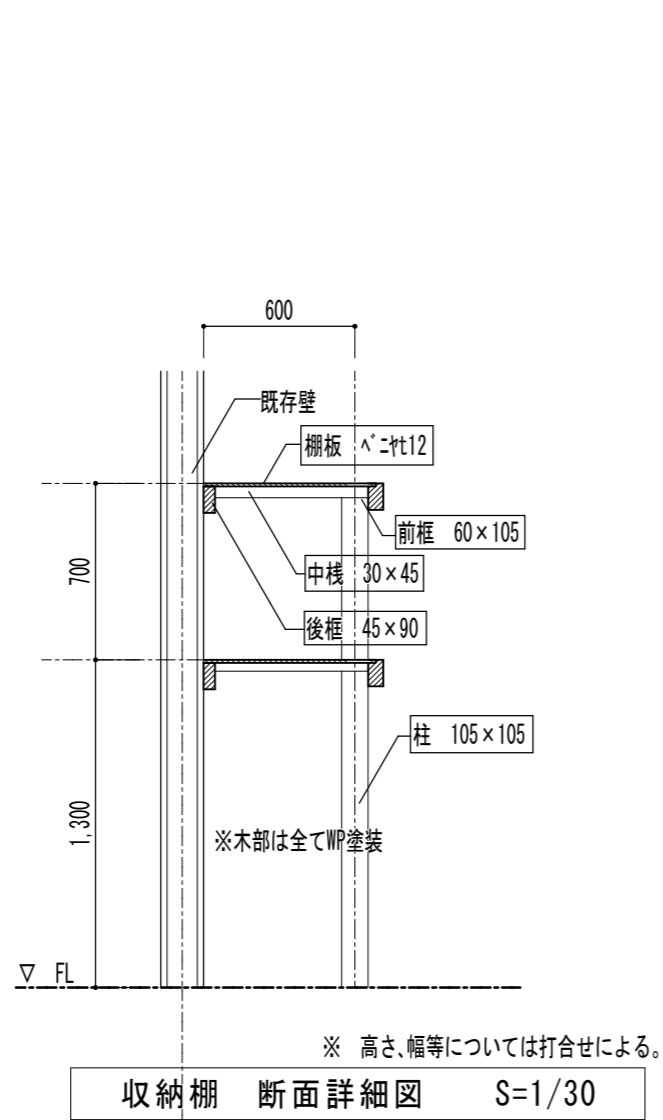


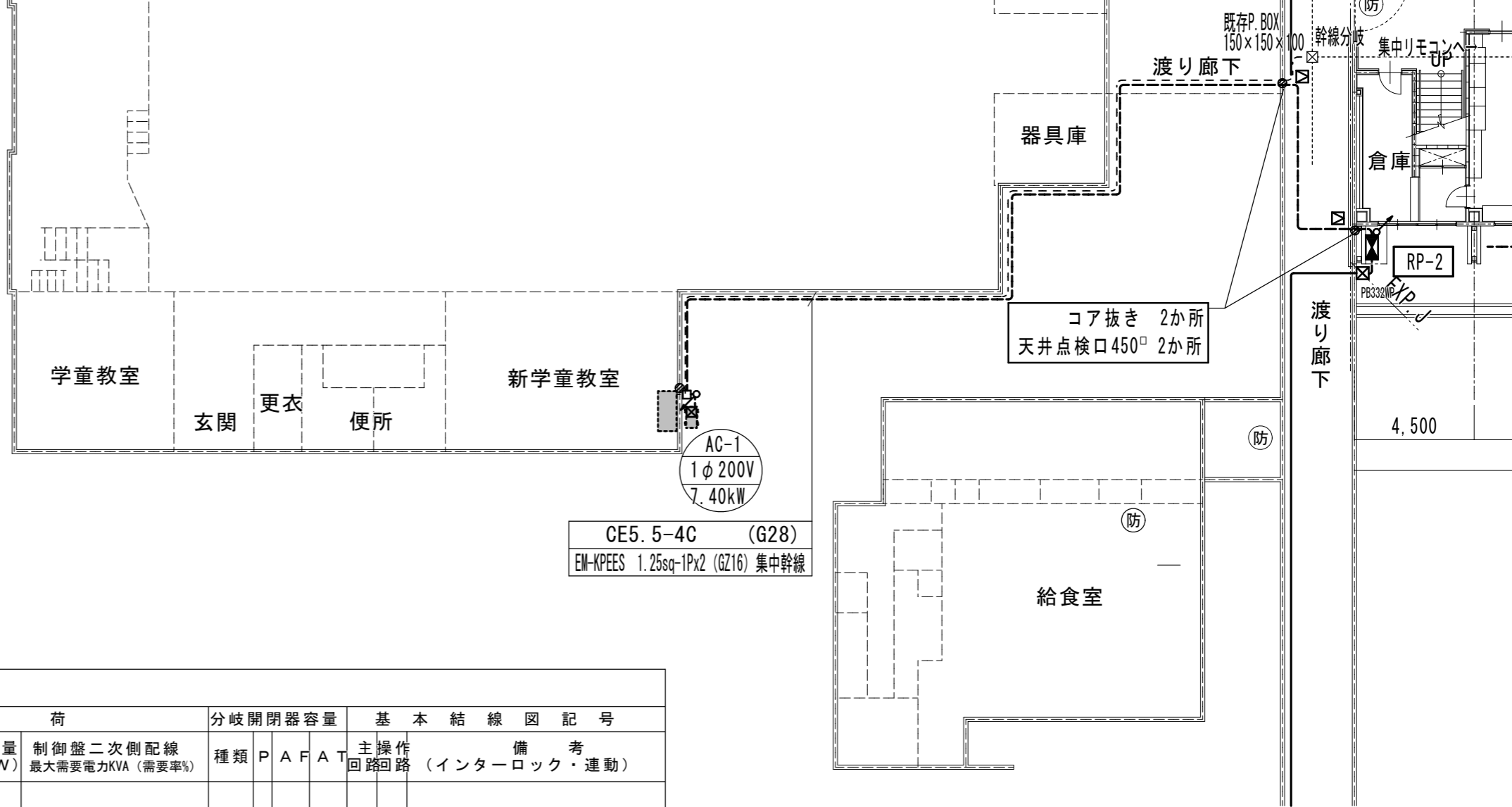
学童クラブ CH=2,550	
床	長尺塩ビ床シートの上 タイルカーペットt6.5
巾木	木製巾木h100残し 既存巾木 WP塗装
腰壁	木製胴縁下地、ラワンベニヤt9の上 シ合板t5.5 CL塗装
壁	木製胴縁下地、ラワンベニヤt9の上 シ合板t5.5 CL塗装
天井	既存ジブトーン撤去 グラスケルト100 16K充填 GB-Rt9.5(ジブトーン)
備考	棚は全てホリ合板フッソt20製作品



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	SHEET NO.
	令和4年度 学童クラブ東部教室改築工事	改修後 矩計図	A3: 1/30	2021.10		A11

符号	形式/数量 取付場所	WD 1	ホリフッシー額付片引ハンガー戸 学童クラブ	1か所	WD 2	引分け戸 学童クラブ	1か所	柵 1	ホリフッシー柵(通学かん入) 学童クラブ	3か所	柵 2	ホリフッシー柵 学童クラブ	2か所	柵 3	ホリフッシー柵 学童クラブ	3か所	下 1	ホリフッシー下足入れ 通路A	2か所	柵 1	和イボト 学童クラブ	1か所		
形状・寸法																								
材種・見込	ホリ合板フッシー 大手貼り 見込 36				既存使用			ホリ合板フッシー板t20 大手貼り			ホリ合板フッシー板t20 大手貼り			ホリ合板フッシー板t20 大手貼り			ホリ合板フッシー板t20 大手貼り			板面 ホー、枠 アルミ、マグネット対応				
仕上	大手SOP塗装				枠 WP塗装			大手柵同材貼り			大手柵同材貼り			大手柵同材貼り			大手柵同材貼り							
硝子	TPF4																							
金物	ステンレス製握り手L450、引戸鍵、指詰め防止パッキン、スリッパゴム ソフトローズハンガー戸金物、シリンダーサムターン錠、付属金物一式				シリンダー錠取付																吊り金具、付属金物一式			
附属品																								
備考	(既存マスターキー組込)				(既存マスターキー組込)																			



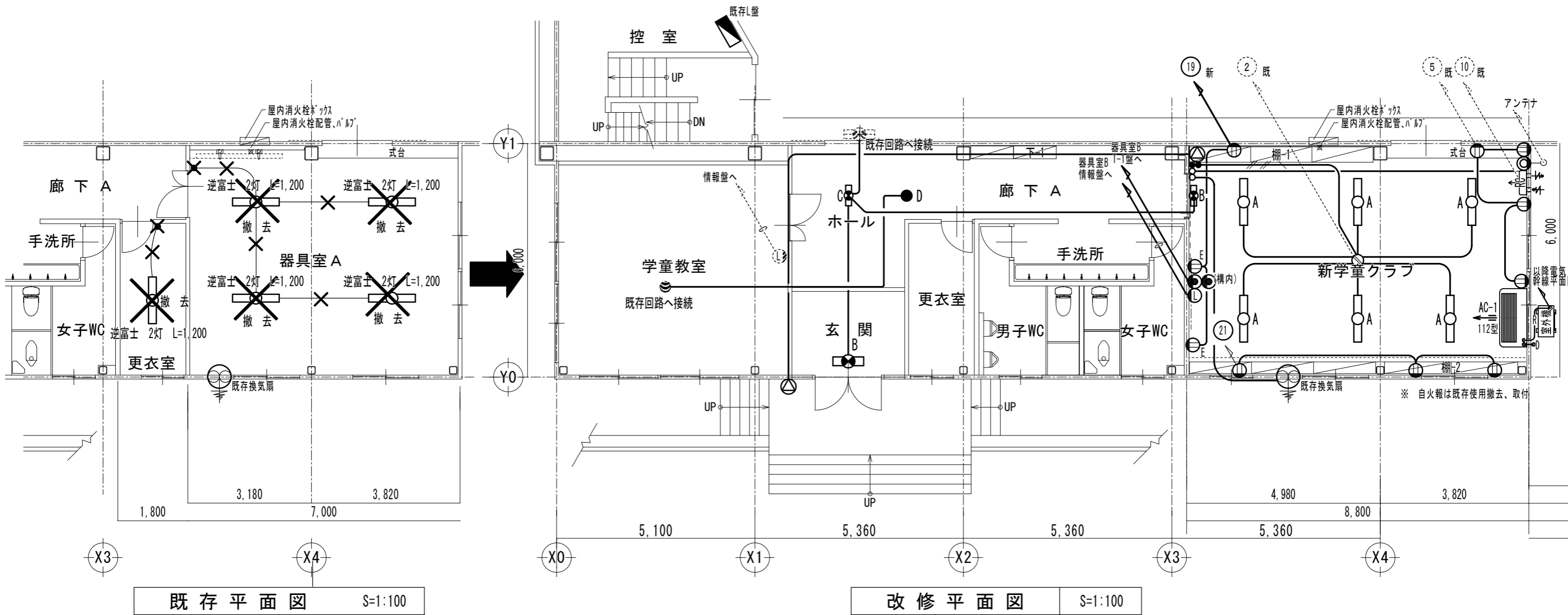


電気幹線平面図 S=1/200

電 灯 版 盤 リ ス ト														
盤名称	幹 線 番 号 結 線 号 線	負 荷				分岐開閉器容量			基本結線図記号					
		機 器 番 号	機 器 名 称	設 置 階	容 量 (KW)	制 御 盤 二 次 側 配 線 最大需要電力KVA (需要率%)	種 類	P	A	F	A	T	主 操 作 回 路 回 路	備 考 (インターロック・連動)
既存L盤	CET100-3C x	②	WC電灯		15									
		⑤	器具室コンセント		15									
		⑩	廊下電灯		15									
		⑰	コンセント(新)		15									

動 力 制 御 盤 リ ス ト													
盤名称	幹 線 番 号 結 線 号 線	負 荷				分岐開閉器容量			基本結線図記号				
		機 器 番 号	機 器 名 称	設 置 階	容 量 (KW)	制 御 盤 二 次 側 配 線 最大需要電力KVA (需要率%)	種 類	P	A	F	A	T	主 操 作 回 路 回 路
RP-2 屋外防水型 壁掛型、鍵付 (既設)	CET38, E8 x MCCB 3P 225AF/150AT ↓ 225AF/175AT に取替え	1	ACP-4	1	7.21	CE5.5-4C (G28)	ELCB	3	50	30	A2		
		2	ACP-4	1	7.21	CE5.5-4C (G28)	ELCB	3	50	30	A2		
		3	RAC-1 (1φ 200V)	1	3.90	EEF2.0-3C (G22)	ELCB	3	50	20	A2		
		4	ACP-3	2	7.78	CE5.5-4C (G28)	ELCB	3	50	30	A2		
		5	ACP-3	2	7.78	CE5.5-4C (G28)	ELCB	3	50	30	A2		
		6	CC-1 (1φ 200V)	1		EEF2.0-3C (G22)	ELCB	3	50	20	A2		
		7	AC-1	1	7.40	CE5.5-4C (G28)	ELCB	3	50	30	A2		
		TOTAL		40.38KW									

既設キレケル



機器表

記号	機械名称	台数	仕様	設置場所	参考品番	付帯工事
AC-1	天井吊り形エアコン	1台	冷暖 10.0(3.1~11.2)kw 消費電力 7.40kW 3相 200V 50A	学童クラブ	RPC-GP112RHN同等品	外壁(ALC100)貫通
RC	壁付トイレ	1台	消費電力 56(W) 排気60、給気45(/h)	学童クラブ	VL-18EUH ₂	外壁(ALC100)貫通
A	ﾊﾞｰｽﾀｲﾌﾟ600型	6台	LED 40形直付型	学童クラブ	XLX460AENP	
B	避難口誘導灯(C形)	2台	LED コﾝﾊﾞｰｽﾀｲﾌﾟ	学童クラブ・玄関	FA10312	
C	通路誘導灯(C形)	1台	LED コﾝﾊﾞｰｽﾀｲﾌﾟ	ホール	FA10312	
D	非常灯	1台	LED ﾀﾞｲｸﾗｲﾄ	ホール	NNFB93605J	
㊦	カメラ付きドアホン	1台	呼び出し機能、カメラ・モニタ機能、通話機能、監視機能付き	玄関・学童クラブ	KL-55 / JS-12	

記号表

記号	仕様
	VVF2.0-3C
	ｺﾝﾍﾞﾝﾄ2口 15W ｱｽﾞｲ
	ｺﾝﾍﾞﾝﾄ2口 15W
	TV 50-FB
	TEL ICT 0.5-2P
	照明ｽｲｯﾁ
	換気扇ｽｲｯﾁ ONﾋﾞｯｶ
	CAT6